

社会資本総合整備計画

事後評価書

令和08年07月21日

計画の名称	松戸市域における人と環境にやさしい公園緑地整備														
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)												重点配分対象の該当		
交付対象	松戸市														
計画の目標	松戸市域において、緑豊かな公園緑地を確保し、人と環境に優しい公園緑地整備を行う。														
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)		2,065	A	2,065	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	21世紀の森と広場の年間入園者数を60万人から90万人に増加させる。			
	21世紀の森と広場の年間入園者数	60万人/年	万人/年	90万人/年
2	矢切の渡し公園を段階的に開園し、年間入園者数を8万人とする。			
	矢切の渡し公園の年間入園者数	0万人/年	万人/年	8万人/年
3	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合を0%から77.4%に増加させる。			
	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合	0%	%	77%
4	バリアフリー化した公園施設の割合を0%から66.7%に増加させる。			
	バリアフリー化した公園施設の割合	0%	%	67%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施する。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	都市公園等事業(21世紀の森と広場)	用地買収2.2ha、遊戯施設等整備	松戸市	■	■	■	■	■	799	4.44	-
	A12-002	公園	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	都市公園等事業(矢切の渡し公園)	用地買収0.95ha、公園整備工事	松戸市	■	■	■	■	■	201	19.74	-
	A12-003	公園	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	松戸市公園施設長寿命化対策事業	長寿命化対策工事(総合公園1、近隣公園5、運動公園1、街区公園55)	松戸市	■	■	■	■		717		策定済
	A12-004	公園	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	松戸市都市公園安全・安心対策事業	公園施設バリアフリー化（近隣公園3、街区公園1）	松戸市			■	■		335		策定済
	A12-005	公園	一般	松戸市	直接	松戸市	-	-	松戸市公園長寿命化計画策定事業	長寿命化計画策定（街区公園8、近隣公園6、地区公園1）	松戸市				■		13		策定済
										小計						2,065			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						2,065		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

松戸市内部で検討

事後評価の実施時期

令和8年6月

公表の方法

松戸市ホームページ

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・21世紀の森と広場の年間入園者数は目標を達成できなかったが、来園者自体は平均6万人増加させることができた。
・矢切の渡し公園については用地買収を進め、令和4年度末に暫定的に開園した。開園から毎年度、年1回イベントを開催した。
・公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した公園施設の割合は、目標を達成できなかったが施設数自体は増加させることができた。一定程度、老朽化に対する安全対策を強化することができた。
・バリアフリー化した公園施設の割合は目標を達成できなかったが、バリアフリー化の対策公園の箇所数自体は増加させることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・引き続き21世紀の森と広場及び矢切の渡し公園の用地確保に努める。
・引き続き公園施設長寿命化対策事業、公園施設のバリアフリー化を実施する。
・当初1つであった整備計画を切り分けたため、計画を跨る成果目標については、事後評価等を関連する整備計画と一体的に実施した。

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	21世紀の森と広場の年間入場者数を60万人→90万人に増加		
	最 終 目標値	90万人/年	夏季の猛暑の影響で来園者が減少したため。多数の来園者が予想されるイベントが雨天中止になったため。
	最 終 実績値	66万人/年	
2	矢切の渡し公園の年間来園者数を0万人→8万人に増加		
	最 終 目標値	8万人/年	公園整備計画を諮問した有識者から、公園の計画策定以前に、上位計画となる矢切耕地全体の保全整備計画を策定されたい旨の答申を受けた。しかし、社会資本総合整備計画期間内に当該保全整備計画の策定に至らなかったため、計画していた公園整備が完了しなかった。社会資本総合整備計画終了時点で暫定的な供用にとどまっており、計画している管理棟の建設に至っていないことから日常的な来園者数カウントができなかったため、イベント実施時の来園者数を計上。令和4年度から令和6年度までの3回分のイベント実施時累計：1,444人
	最 終 実績値	0万人/年	
3	公園施設長寿命化計画に基づき改築・更新した施設数を0%→77.4%に増加		
	最 終 目標値	77%	計画時と比較して、物価高騰や労務単価上昇の影響で事業費が増加したことにより、計画通りに事業が進まなかったため。
	最 終 実績値	49%	
4	バリアフリー化した公園施設の割合を0%→66.7%に増加		
	最 終 目標値	67%	計画時と比較して、物価高騰や労務単価上昇の影響で事業費が増加したことにより、計画通りに事業が進まなかったため。
	最 終 実績値	50%	